

要 保 存**自然災害における警報等発令時の生徒の安全確保について改訂版**

横浜市学校防災計画改定を受け、風水害等の警報・特別警報並びに防災気象情報発令時の対応をお知らせします。ご家庭でも内容をよく確認の上、安全確保のためご理解とご協力をお願いいたします。

★休校となる場合は、次の4つです。**①「地震」**

登校前に横浜市内のいずれかで震度5強以上が発生→休校。発生翌日→休校。

- ・登下校時は、自宅か学校の近いほうへ。自宅に保護者不在の場合は学校へ。
- 移動時には倒れてくるもの、落ちてくるもの、ちぎれた電線等注意。
- ・登校後は学校留め置きとし、保護者または指定された方に引渡し。
- ・登校後に震度5強以上でなくとも「学区の停電」「グリーンラインの運転再開見込みが立たない」場合は学校留め置き、保護者または指定された方に引渡し。

②「気象に関する警報」

○「特別警報」、「暴風警報」、「暴風雪警報」、「降灰予報」

神奈川県全域または県東部に午前6時の段階で上記4つの警報のいずれかが発令中→休校。

○**新規**「レベル4大雨危険警報(横浜市北部)」

☆前日午後4時過ぎに市教育委員会から翌日の休校指示→休校。(すぐ一斉で配信します。)

☆前日の休校指示がない場合でも当日午前6時～8時頃に上記の警報が発令中→休校。

・登校後にレベル4大雨危険警報が発令されたら学校留め置き。但しすぐに引取りとはなりません。

※上記の5つの警報が午前6時に発令されていない場合でも、ご家庭の判断で登校を見合わせることもできます。その場合には、すぐ一斉等で学校に連絡が必要です。(出席停止扱い)

③「市内鉄道運休」

台風や大雪の影響で市内鉄道会社全社の計画運休が発表→休校。(前日の昼以降の発表が多い。)

④弾道ミサイル

弾道ミサイルが市内に落下した場合→休校。

- ・登下校前にJアラートが県内に発信されたら家庭で待機。
- 上空通過or領海外落下が確認されたら登下校再開。
- ・在校時及び登下校中はできるだけ丈夫な建物内で窓から離れ、頭部を守る。

★学校留め置きとなる場合

上記に加え、下校時に雷鳴が聞こえた場合、雷鳴が止み30分経過後下校となります。(活動再開有) 差し迫った特別な事情があり引取りが必要な時は、

- ①学校に電話 ②車で迎え※川和ゴルフ前の十字路から進入
- ③車のまま多目的ホール前から理科室前廊下へ進入 ④職員へ声かけ ⑤引渡

※職員による車両の誘導は安全上できません。このため迎えの車が重なり、敷地内で車が立ち往生する状況が多数発生。引取りの際は、「差し迫った特別な事情かどうか」をよく判断してください。